

宮崎県拠点だより

宮崎県拠点の
Webサイトは
こちらから事例紹介
ファイル #4

持続可能な農業に向かって!!

～ 有機農業の町 綾町から ～



「綾オーガニックスクール」設立に取り組んだ松井道生さん

スクールでは、有機農業の土づくりから現場での栽培技術、マーケティングまで学ぶことができます。

関東など県外から来た研修生は、地域おこし協力隊として活動しています。

また、スクール卒業後に町内で就農できるように、耕作放棄地を有効活用した農地利用、住宅支援、農業機械のレンタルなどの支援もあります。

スクールで有機農業の実践者を確実に増やすことで、綾町の有機農業の持続的発展と地域の活性化が期待されます。

令和5年6月に開校した「綾オーガニックスクール」は、新規就農希望者が有機農業を体系的に学べる2年制の学校です。

昭和50年代から有機農業を推進してきた綾町に、町内外から新規就農者が移住してきました。当初は特定の有機農業者の指導を受けていましたが、経営が軌道に乗らず離農するケースも少なくありませんでした。

そこで綾町では、有機JAS取得農家の拡大を目的に、新規就農者とベテラン有機農業者が学習・交流できるスクールを設立しました。



- 綾オーガニックスクールの校章は、
 - ・オーガニックを越える”Surpasses organic agriculture”
 - ・持続可能な発展”Sustainably develop”
 - ・科学の力で”the power of Science”
 - ・一緒に学ぶ学校”Together with you we will create a School”
- オーガニックの”O”と、この4つの”S”を組み合わせたデザインとなっています。



松井さんは「土が持っている力を活かし、マルチを張ることで除草の省力化を図っています。」と、ベテラン農業者としてアドバイス
(宮崎県拠点Webサイトに「綾オーガニックスクール」を掲載)



「綾オーガニックスクール」に1期生として入校し、来年綾町で就農予定の、古川義久さん
(宮崎県拠点Webサイトに「いき活き宮崎の農業者！」に掲載)





●延岡市と共催で「一日農林水産省」（延岡市役所）を開催し、生産者、関係機関を合わせて約80名の参加がありました。（11月19日）

全体会では、拠点から改正基本法とみどり戦略の説明を行い、分科会（農産園芸、畜産）では、各施策の説明を行った後、意見交換を行い、生産者からは現場の切実な要望など多くの意見が出ました。



延岡市「一日農林水産省」
全体会



分科会の様子
下は、多くの意見に回
答する菊池地方参事官



(株)MOMIKIとの意見交換
と黒にんにくやソース調味
料等の製造施設の見学

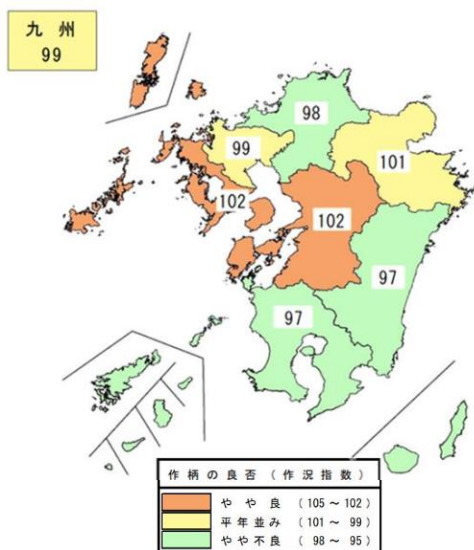


●第54回みやざき輸出促進連絡会（事務局：宮崎県拠点）は、株式会社MOMIKI（宮崎市佐土原町）を訪問し、黒にんにくやソース調味料等の製造施設の見学や意見交換を行いました。（10月16日）施設には、宮崎大学と共同開発した黒にんにく熟成炉が設置されています。

主力の輸出商品は、ヴィーガンをターゲットにした動物性原料を一切使用しない「ガーリックソース」ですが、新たにラー油製品を開発し更なる海外の販路拡大に取り組んでいます。

令和6年産水稻の作付面積及び10月25日現在の予想収穫量(九州)

宮崎県の作柄はやや不良(作況指数97)の見込み



ー令和6年11月19日公表ー

- ・宮崎県における令和6年産水稻の作付面積(子実用)は1万4,500ha(前年産に比べ200ha減少)となりました。
- ・水稻の作付面積(青刈り面積を含む。)から、備蓄米、加工用米、新規需要米等の作付面積を除いた主食用作付面積は1万2,400ha(前年産に比べ300ha減少)となりました。
- ・10月25日現在における早期栽培の10a当たり収量は470kg(平年に比べ△8kg)となり、これは、5月下旬から6月中旬がおおむね天候に恵まれ全もみ数は「やや多い」となったものの、7月上旬以降高温で推移したことから、登熟は「やや不良」となったためです。
- ・普通栽培の10a当たり予想収量は487kg(平年に比べ△20kg)と見込まれます。これは、6月下旬や7月中旬が日照不足で推移したことから、全もみ数は「平均並み」となったものの、出穂期以降の高温や台風第10号の影響により、登熟は「やや不良」と見込まれるためです。
- ・主食用作付面積に10a当たり予想収量を乗じた予想収穫量(主食用)は5万9,600t(前年産に比べ2,100t減少)と見込まれます。

編集後記

今年も早いもので、残すところ1か月となりました。子供たちにとってはクリスマスや冬休みなど楽しいイベントが盛りだくさんで、心浮かれます。

大人だって美味しいものを飲食できる機会が多くなり、つつい心浮かれてしまいますよね。一説では「僧侶(師)」が「走り回るほど忙しい(走)」とされていますが、今年こそは落ち着いて新年を迎える準備(大掃除)をしたいものです。

今年1年、宮崎県拠点だよりをご覧いただきありがとうございました。(YM)

●本紙の記載内容や農政についてのご質問、ご意見等お気軽にお問い合わせ下さい。

●宮崎県拠点 地方参事官室
TEL 0985-24-2365
〒880-0801 宮崎市老松2丁目3-17